

図書だより

2024年 5月号
三島高等学校 図書委員会

My favorite book



今月から、新任の先生方に本にまつわるインタビューをした記事を載せていきます。

今月は、**山中 達也 教頭先生**です。

Q簡単な自己紹介をお願いします。

出身は四国中央市土居町です。新居浜から通勤しています。これまでの勤務校は、東予工業高校、新居浜西高校、三島高校、高校教育課、土居高校です。三島高校は7年振り2回目の勤務となります。



担当教科は国語で、部活動では登山部の顧問を担当してきました。自分の職歴の中で、最も長く勤務した三島高校に再び勤務できることを、大変うれしく思っています。趣味の登山も再開し、4月は西赤石山、5月は伊予富士に登りました。

Q学生時代に感銘を受けた本、皆に読んでほしい本を教えてください。

高校時代に感銘を受けた本は、**夏目漱石**著『**こころ**』です（昨年の「図書だより」8月号でも、池田彩音先生から紹介されています）。私は、高校2年の「現代文」の授業後、文庫で全文を読みました。初めて読み終えたときは、人間の醜さや弱さをリアルに見せつけられて、何日か寝つきが悪かった記憶があります。最も読み返している作品の一つです。授業では、「下 先生の遺書」の一部分しか扱いませんが、その内容を踏まえて「上 先生と私」を読むと、作品の印象ががらりと変わります。最初から全文を読んでいくことをおすすめします。

Qみなさんに読んでほしい本を教えてください。

沢木耕太郎著『**春に散る**』を紹介します。筆者は、ドラマ化された『**深夜特急**』などでも有名です。2015年から一年半、朝日新聞に掲載されたこの作品は、筆者初の連載小説という点でも注目され、好評を博しました。

広岡ら四人の元ボクサーが、ボクシングの英才教育を受けながらも目標を見失っていた若者（翔吾）と出会い、かつての自分たちが果たせなかった世界チャンピオンになる夢に再び挑む物語です。四人の指導の下、ボクシングへの情熱を取り戻した翔吾は、天性の素質を開花させ、世界タイトル戦で自分を待ち受ける強敵に立ち向かっていきます。2023年に公開された映画では、広岡を佐藤浩市、翔吾を横浜流星が演じていました。

連載当時、私の勤務校は三島高校でした。毎朝、新聞を開いて真っ先に読んでいました。読むと、

「何事も逃げずにしっかりやろう」という気持ちになれます。登場人物それぞれの勇気を感じ取ってほしいと思います。

筆者は、朝日新聞（土曜版 be）で二作目となる小説『**暦のしずく**』を、2022年10月から連載中です。筆者初となる時代小説で、挿絵の担当は、「書道パフォーマンス甲子園」のイラストも手掛ける墨絵イラストレーターの茂本ヒデキチ氏です。三島高校に前回勤務していた頃の読書の楽しみを、もう一度新たに味わえる偶然に驚きながら、土曜日を心待ちにしています。好きな作家の作品をまとめて読むことで、世界が広がります。

Q三高生に一言！

『春に散る』では、広岡たちが示した課題の克服を目指して、翔吾が必死に取り組む場面が描かれています。

「良い教師は、分かりやすく解説する

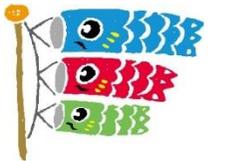
優れた教師は、自らやってみせる

偉大な教師は、生徒の心に火をつける」（ウィリアム・アーサー・ウォード）

様々な課題と向き合い、克服のために努力することによって、皆さんも成長できます。そして、「克服できたらいいな」ではなく、「絶対に克服してやる」と決意したとき、皆さんも「自分の心に火をつける」はずです。三島高校のすばらしい先生方や仲間たちとともに、何事にも熱い気持ちを持って取り組み続けましょう。

山中 達也 教頭先生、ありがとうございました！！

知ってトクする図書館コラム



今回はなぜ本を読むのか？本を読むメリットについてご紹介します。

○語彙力、文章力が養われる

読書をするすると自然と多くの言葉を身に付けられる。様々な表現にふれることで、文章力が磨かれる。

○知識や教養が身につく

本の中には情報がたくさんある。よく世界観が広がるというが、様々な情報や考え方にふれることができる。普段読まないジャンルにも手をつけてみよう。

○ストレス解消効果がある

イギリスの大学の研究によると、読書には6分間で68%のストレス軽減効果があるとわかっている。これは音楽鑑賞、散歩、ゲームをすることよりも効果的だと言われている。これは、ストレスの原因である現実のことから気持ちを切り離し、登場人物に感情移入したり、小説の中のストーリーや疑問点に思いをはせたりすることでストレスが鎮静されるためである。

いいことたくさん！みなさん、どんどん本を読みましょ♪